

平成30年度

静岡県包装研究会

- 開催日時：平成30年11月2日(金) 13:00～16:10
- 主 催：公益社団法人日本包装技術協会 (JPI)
- 会 場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」第1研修室(静岡市)

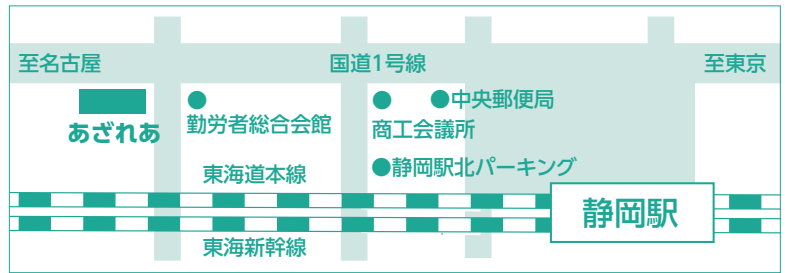
JPIでは、各地域の会員ニーズに応えるべく、静岡県におかれましても年1回包装研究会を開催し、多くの地元会員企業の皆様にお集まり頂き好評頂いております。
 本年度は第1部に「紙製造工程と品質の関係について～基礎技術から最新の動向まで～」をテーマに、第2部では「衝撃シミュレーションによるプラスチック緩衝材の設計効率化」をテーマに開催させていただきます。
 この機会に、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

講演プログラム

| 時間 | 講演内容 |
|---------------------|--|
| 13:00 14:30 | テーマ：『紙製造工程と品質の関係について～基礎技術から最新の動向まで～』 講 師：静岡県紙パルプ技術協会 技術等アドバイザー 久保田 道孝 氏 講演内容：紙の最終品質に関係する重要と見られる項目について列挙し個別に解説したい。原料の材種、パルプ化の過程、古紙処理の工程とその性質、叩解の効果、補助添加物、添加薬品の効果、洋紙抄紙機の構造と特徴、板紙抄紙機の構造と特徴、塗工機などを取り上げる。また、セルロースナノファイバーなど、注目されている分野についても触れてみたい。 |
| 14:40 16:10 | テーマ：『衝撃シミュレーションによるプラスチック緩衝材の設計効率化』 講 師：富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社 エキスパート開発統括部 包装設計グループ 遠藤 泰輔 氏 講演内容：近年、環境や物流コストの観点から商品包装の小型化が求められており、当社では衝撃シミュレーションを活用した最適化設計により、緩衝材の薄肉化を進めている。また、軽量物では緩衝材のレス化を進めているが、レス化が困難な場合に、従来の発泡スチロールに加え、射出成形、または真空成型によるプラスチック部品を緩衝材として活用している。 本講演では、当社の包装設計における衝撃シミュレーションへの取り組みと活用方法について紹介する。また、プラスチック緩衝材の衝撃シミュレーションに必要な不可欠な材料物性を、独自の手法で取得する方法を紹介する。 |

開催要領

- 日 時：平成30年11月2日(金) 13:00～16:10
- 会 場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」第1研修室
 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1 TEL. 054-255-8440
 * (右案内図参照)
- 参加料：(公社)日本包装技術協会の会員の方:無料
 (一社)静岡県紙パルプ技術協会の会員の方:無料
 一般の方:一講演につき3,240円(税込)
- 定 員：80名 下記申込書に記入いただきFAXにてお送り下さい。
 お断りする場合のみご連絡します。
 当方より連絡がない場合は直接会場にご来場下さい。



お問合せ・お申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 静岡県包装研究会係 担当:佐藤
 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 TEL.03-3543-1189 ・ FAX. 03-3543-8970
 e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「平成30年度静岡県包装研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

平成30年度静岡県包装研究会 申込み用紙 担当:佐藤(FAX.03-3543-8970) No. _____

| | | | | | | |
|------------------|------|--|---|-----|--------|--|
| 会社名 | | | | | | |
| 所在地 | (〒) | | | | | |
| 電 話 | | | | FAX | | |
| 参加者 | 氏名 | | 所属 役職 | | e-mail | |
| | 氏名 | | 所属 役職 | | e-mail | |
| | 氏名 | | 所属 役職 | | e-mail | |
| (該当する方に○をつけて下さい) | | | (公社)日本包装技術協会会員 ・ (一社)静岡県紙パルプ技術協会会員 ・ 一般 | | | |